

大島商船高等専門学校		開講年度	平成31年度 (2019年度)		授業科目	日本語・日本事情(留学生補習)	
科目基礎情報							
科目番号	0169		科目区分	一般 / 必修			
授業形態	授業		単位の種別と単位数	履修単位: 1			
開設学科	商船学科		対象学年	4			
開設期	前期		週時間数	2			
教科書/教材	教材プリント						
担当教員	牛見 真博, 島田 雄一郎						
到達目標							
1.言語知識(文字・語彙・文法)について適切に運用できる。 2.幅広い話題や論旨が明快な文章についての的確に読解できる。 3.まとまりのある会話を聞いて的確に理解できる。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安		
評価項目1	言語知識について十分運用できる。		言語知識についておおよそ運用できる。		言語知識について運用が不十分である。		
評価項目2	論旨が明快な文章について十分読解できる。		論旨が明快な文章についておおよそ読解できる。		論旨が明快な文章について読解が不十分である。		
評価項目3	まとまりのある会話を聞いて十分理解できる。		まとまりのある会話を聞いておおよそ理解できる。		まとまりのある会話を聞いて理解が不十分である。		
学科の到達目標項目との関係							
本校(1)-a							
教育方法等							
概要	日常的な場面を含めた幅広い場面で必要な日本語能力の伸長を図るとともに、コミュニケーション能力を高める。						
授業の進め方・方法	適宜教材プリントを配布し、日本語能力試験に対応した問題演習をとおして授業を進める。						
注意点	日頃から意識的にさまざまな分野の本や新聞などを読むようにし、日本社会に関する背景知識を身につけてほしい。						
授業計画							
	週	授業内容		週ごとの到達目標			
前期	1stQ	1週	ガイダンス		授業の進め方を理解する。		
		2週	文字 漢字の読み		漢字の読み方について理解する。		
		3週	文字 表記		漢字の書き方について理解する。		
		4週	語彙 語形成		語形成について理解する。		
		5週	語彙 文脈規定		文脈規定について理解する。		
		6週	語彙 言い換え類義		言い換え類義について理解する。		
		7週	語彙 用法		語の適切な使い方について理解する。		
		8週	前期中間試験				
	2ndQ	9週	文法 文法形式		文法形式について理解する。		
		10週	文法 文の組み立て		文の組み立てについて理解する。		
		11週	文法 文章の文法		文章に見合う文法について理解する。		
		12週	読解 内容理解1		200字程度のテキスト内容について読解する。		
		13週	読解 内容理解2		500字程度のテキスト内容について読解する。		
		14週	読解 統合理解		複数のテキストを読み比べて内容について理解する。		
		15週	読解 主張理解		評論について筆者の意見や主張について理解する。		
		16週	前期末試験				
評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	0	0	0	0	0	100	100
基礎的能力	0	0	0	0	0	100	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0